

クロアチア情勢

主な出来事

2017年9月

内政

- 2日、非議会政党である極右政党「人権のための自発的クロアチア政党(A-HSP)」のメンバーが、セルビア系少数民族週刊誌「ノボスティ」をザグレブ市内のセルビア系民族委員会(SNV)事務所前で燃やす事件が発生。
- 7日、ヤセノバツのプレートが取り外され、ノブスカに移された。
- 7日、来年度の教育改革の行動プランが賛成多数で可決された。
- 11日、グラバル＝キタロビッチ大統領、プレンコビッチ首相は、洪水の被害の発生したザダル市を視察。
- 12日、A-HSPのメンバー数十人が、セルビア系少数民族週刊誌「ノボスティ」をザグレブ市内のセルビア系民族委員会(SNV)代表事務所前で燃やす事件が再度発生。
- 13日、クロアチア報道連盟は極右政党A-HSPのメンバーが起こした事件に関し、非難声明を発出。
- 14日、ボジノビッチ内務相は、内務省が極右政党ケレミネッチA-HSP代表に対し、司法省に告訴したと発言。
- 15日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、「海軍の日」記念式典に参加。
- 19日、議会は、退役軍人とその家族のための支援法案を可決。
- 21日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、祖国安全保障委員会の第10回会議に出席。

外交

- 1日、ブシッチ外務・欧州問題省副相とクロアチア・ウクライナ間協力のためのクロアチア政府ワーキンググループは、2日間の代表団のキエフ訪問について記者会見を開催。
- 1日、ライネル議会副議長は、ヤズドゲルディ米国ヨーロッパ・ユーラシア局ホロコースト問題特使と会談。
- 1日、ボスニャコビッチ司法相、ノイエス駐クロアチア米国大使は、ザグレブで2012年に二国間で締結された、司法に関する地域イニシアティブの第三修正版に署名。
- 2日、プレンコビッチ・クロアチア首相がボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)北部のトゥズラ市、オラシエ市、ジェパ市のクロアチア系を非公式に訪問し、チョービッチBH大統領評議会議長(クロアチア系)が同行。

- 4日、外務・欧州問題省は、プレスリリースにおいて北朝鮮の核実験に関する非難声明を発出。
- 5日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、第12回ブレッド戦略フォーラムに出席。同フォーラムの-marginで、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、非公式の南東欧協力プロセス(SEECP)会合に出席。
- 7－8日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、タリンで開催された過激化・暴力化をはじめとする、多国間戦略、北朝鮮、中東和平プロセス、ベネズエラにおける防衛の実施に関する非公式のEU外相会合(Gymnich)に出席。同会合の-marginで、ミクセル・エストニア外相、リンケビチュウス・リトアニア外相、ジョンソン英外相、ジャンネリゼ・ジョージア外相と二国間会談。
- 8日、ライネル議会副議長は、ザグレブを訪問したパク韓国議会代表と会談。
- 12日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、ハンガリーを公式訪問し、アデル大統領とオルバン首相と会談。
- 12日、ミリナ当国警察庁長官及び李・中国公安部副部長による、観光シーズンの両国警察官の共同警備に関する覚書が締結。
- 12日、プレンコビッチ首相は、習近平・中国国家主席の特使としてクロアチアを訪問した孟建柱・中国中央政法委書記(兼中国中央社会治安综合治理委员会主任)と会談。
- 13日、孟建柱・中国中央政法委書記(兼中国中央社会治安综合治理委员会主任)は、グラバル＝キタロビッチ大統領を表敬訪問。
- 13日、ブシッチ外務・欧州問題省副相は、ミナロビッチ・スロバキア元外交官代表団を迎え、クロアチア・スロバキア間の文化・歴史的な関係について意見交換。
- 14日、プレンコビッチ首相は、議会の各政党代表者との協議を開催し、クロアチアは、二国間で、対話や協議や交渉を通じて、スロベニアとの国境問題を解決すべきだという意見で一致。
- 14－15日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、マルタで開催されたEUの代表役員でないEU加盟国で結成された「アライオロス・グループ」の第13回非公式会合に出席。
- 18日、プレンコビッチ首相率いるクロアチア政府代表団が第72回国連総会主席のため、NY入り。ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、クリムキン・ウクライナ外相、マルスディ・インドネシア外相と二国間会談、UN改革に関するハイレベル会合、仏語国際機関(OIF)会議に参加。また、プレンコビッチ首相とペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、米国のクロアチア系コミュニティの代表者と会談。
- 18日、クルスティッチェビッチ副首相兼国防相は、メルシエNATO変革連合軍最高司令官と会談。同司令官は、スプリットに於いて開催されたクロアチア海軍26周年記念式典に出席。
- 19日、プレンコビッチ首相とペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、第72回国連総会一般討議に出席。ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、シーヤールトー・ハンガリー外相と二国間会談、アンゲル・グリア経済開発協力機構(OECD)事務総長と会談。
- 20日、プレンコビッチ首相とペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、クロアチアの国連加盟25周年の記念碑除幕式に参加。またペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、クロアチア国連加盟25周年の記念レセプション、第10回包括的核実験禁止条約(CTB

T)発効促進会議, EU・UNジェンダーイニシアティブ, イラクに関する外相会談に参加, フリック・リヒテンシュタイン外相と二国間会談。

●21日, プレンコビッチ首相とペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は, 第72回国連総会に出席。プレコビッチ首相は, 一般討論演説を行った他, グテーレス国連事務総長と会談。ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は, トルコ, ボスニア・ヘルツェゴビナとの3カ国外相会談, 非公式の女性外相会合, メサヘル・アルジェリア外相, アクバル・インド外相と二国間会談。

●22日, ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は, 第72回国連総会のマージンで開催された非公式の4カ国会談(ブルガリア, ルーマニア, ギリシャ, クロアチア)に出席, 「米国アドリア憲章」加盟国の外相との協議, オルギン・コロンビア外相及びナルバンジャン・アルメニア外相と二国間会談。

●22－27日, クシュチェビッチ行政相は, 中国の桐郷市及び浙江省を公式訪問。浙江省及び桐郷市の代表と大臣レベルでの会談に出席。

●22日, ブシッチ外務・欧州問題省副相は, 21－23日にかけてクロアチアを訪問中のアルファデル議員率いるクウェート友好議員連盟と会談。

●25日, グラバル＝キタロビッチ大統領は, イストリアのパジン市で開催されたイストリア県記念日兼パジン宣言(イストラ地域のクロアチアへの帰属に関するもの)74周年の記念式典で演説。

●25日, ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は, ブリュッセルで開催されたEU総務理事会(GAC)に出席。

●25日, グラバル＝キタロビッチ大統領, プレンコビッチ首相, クルスティチェビッチ国防相は, クロアチアを公式訪問したフルトクヴィスト・スウェーデン国防相と会談。戦闘機の調達等に関し, 意見を交換。

●26日, グラバル＝キタロビッチ大統領, プレンコビッチ首相は, リーベルマン・イスラエル国防相と会談。

●27日, クルスティチェビッチ副首相兼国防相, リーベルマン・イスラエル国防相は, クロアチア商工会議所(HGK)に於いて開催されたクロアチア・イスラエルの防衛産業とIT企業のビジネス会合に出席。同会合において, ブリロビッチHGK代表, アリエリ・イスラエル輸出・国際関係機関総務部長は, HGKとイスラエル機関の協力に関する合意書に署名。

●27日, ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は, 市民事業のためのヨーロッパ10周年記念の会議に出席。

●28日, プレンコビッチ首相は, タリンで開催されたEU首脳会合に出席。同会合では, ブレグジット後のEUの将来に関する計画等について議論。

●29日, プレンコビッチ首相は, タリンで開催されたEU首脳会合のマージンで, メルケル独首相, マクロン仏首相, ジェンティローニ伊首相と会談。

●30日, ヤンドロコビッチ議会議長は, プーラ市に於いて開催されたクロアチア・中国外交25周年記念式典に出席。

●30日, 退役軍人省は, プレスリリースにおいて, 29日にセルビアのベオグラードに於いて, テピッチ少佐の記念碑の除幕式が行われたことに非難する声明を発出。

経済

●1日、クロアチア統計局は、鉱工業生産高を公表。7月は前年同月比2.5%増となった。6月(同4.0%)から伸びは低下したものの、3か月連続の増加。

●6日、クロアチア観光省は、2017年1－8月期の観光統計を発表。クロアチアを訪問した観光客数は1500万人(前年比14%増)、宿泊客数(観光客による1泊を一人とカウントした場合の延べ人数)は8500万人(前年比13%増)となった。2017年の観光収入は去年(約100億ユーロ)より5.7%増え、宿泊客数は統計開始以来初となる述べ1億人を超える見通し。

●14日、政府は、2018年1月の固定資産税の導入を取りやめる規定を含む地方税法改正案を議会に提出。固定資産税を巡る問題については、今後、公共料金に関する法律を検討する中で議論される予定。

●14日、マリッチ財務大臣は、閣議で、2017年上半期の財政赤字は16億クーナ(GDP見通し比0.4%)となり、2016年上半期と比べて8億クーナ減少したと報告。2017年の政府債務残高GDP比は、当初の見通しから2.5%ポイント低下し、81.1%となる見込み。

●19日、ザグレブ経済研究所(EIZ)は、経済見通しを発表。2017年の成長率を3.1%(3月時点3.3%)、2018年を3.3%(同2.9%)に改定。今後のリスク要因として、財政に関する改革の停滞(固定資産税導入の延期)、近隣諸国との緊張による投資への影響(ペレシャツ橋建設事業)、医療部門における債務未払いやクロアチア高速道路(HAC)の債務再編、スイス・フラン建てローン問題を巡る銀行訴訟、MOL保有のINA株の買収を巡る問題、アグロコル問題等を指摘。

●22日、クロアチア統計局は8月の失業率を公表。失業率は10.9%と前月の10.8%からわずかに上昇。

●23日、格付会社S&Pレーティングは、クロアチアの長期ソブリン格付けをBB格、短期ソブリン格付けをB格(いずれも投機的等級)に据え置く一方、見通しについては、経済の拡大が続き更なる財政再建を支えていること、アグロコル問題を巡る副次的な影響が抑制されていることなどから、「安定的」から「ポジティブ」に上方改定。

●28日、アグリコル・グループは、29日に予定していた2016年及び2017年9月までの統合財務報告書の公表を1週間遅らせることを発表。

主要経済指標

(2017年月次データ、政府統計局発表)

輸出総額(7月)	輸入総額(7月)	貿易赤字(7月)	工業生産高(8月) 対前年同月比	インフレ率(8月) 対前年同月比	失業率(登録制)(8月)
585 億クーナ 78 億ユーロ (+14.2%)	947 億クーナ 127 億ユーロ (+11.6%)	363 億クーナ 49 億ユーロ (+7.7%)	+3.2% (7月:+2.5%)	+1.0% (7月:+1.0%)	10.9% (7月:10.8%)

※輸出総額、輸入総額、貿易赤字の括弧内の数字は、対前年同月比。

本クロアチア情勢は、クロアチアの政治・経済情勢を中心に各種報道、発表をとりまとめたものですので、記載事項については在クロアチア日本大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。